

保育計画成果報告書

法人名等	合同会社キッズベアー
施設名	キッズベアー文の里
報告者（役職）	米村清美（園長）
住所・連絡先	大阪府大阪市阿倍野区文の里 4-21-30 一桃ビル 2F
	☎ 06-7507-1316 E-mail yonemura@wfa.co.jp

○タイトル（保育計画）

運動遊びを通し、健やかな体、豊かな心を育てる

○主な助成備品

巧技台・スタッキング平均台・ベビーシフォンマット・すべり台

1. 保育計画策定の目的

当園は、平成29年4月に小規模保育園として開園しました。ビルの2階ということで園庭がなく、保育室での活動が大半で、身体を十分に使って遊ぶ環境が難しく、近隣の公園での戸外遊びとなっています。子どもたちの運動能力やコミュニケーション能力の向上について、保育の中にどのように日々取り入れるかが課題であります。このような状況の中、室内でも子どもたちが十分に身体を使った運動遊びができるようにと運動用具等の整備に至りました。

乳幼児期は、歩く、走る、投げる、跳ぶ、転がる、登る等基本的な動きを獲得していく時期です。この時期に多様な動きや、全身を使ういろいろな遊びをたっぷりと楽しく経験することは、「生きる力」を支える「健やかな体」「豊かな心」を育てる上での基礎となるものであると思います。また、日々の運動遊びを通して、人との関わりや運動機能の向上、思考力や表現力など様々な力を育み、子どものやりたい気持ちから自信へ繋げていくことを目的とし、保育計画を策定しました。

2. 具体的な実施内容

巧技台・平均台・マット等、子どもの発達に応じて組み合わせを考え、子どもたちが十分に手足を使って遊べるよう、動きや状況に合わせて巧技台の段数を増やしたり、高くしたりし、登る、降りる、渡る、ぶら下がるなどの経験を積み重ね少しずつ運動能力を高めていきました。遊びに慣れてくると、子ども達は様々な動きに挑戦しようとしています。保育者は、個々の子どもの「やってみよう」という気持ちを受け止め、発達過程を十分理解し、安全面にも配慮しながら取り組みました。

- 0歳児＝全身の動きが活発になり、感覚が急速に発達する時期。ハイハイやつかまり立ちができるようになると行動範囲が広がる。

マットの上をハイハイ、滑り台を登ることを楽しむ。



- 1歳児＝高さのある巧技台を登る、滑り台では登る・降りるの繰り返しが足・腕・腰を鍛える。巧技台の上に乗る両足ジャンプをして降りる、平均台を渡る、バランス感覚、空間認知力、跳躍力をつける。



- 2歳児＝細かな動きをはじめ、全身のバランスが身につく時期。

0・1歳児で行った運動遊びを基本とし、マットの枚数を増やす、巧技台の高さを高くする等、環境構成をステップアップし運動遊びを楽しむ。平均台では、またぐ、くぐる、飛び越す、まっすぐ歩く、横歩き等バランス感覚、注意力、集中力、平衡感覚を身につける。



★「親子であそぼう会」で、他の運動用具も取り入れ、サーキット運動遊びを保護者と共に楽しみ、子どもたちのたくましく成長した姿を見ていただきました。



3. その成果と評価

運動遊びを始めた頃は、初めて経験することが多く、少し戸惑っている姿も見られました。平均台ではバランスがとれず中々前に進むことができなかつたり、高さのある巧技台では登れず諦めてしまったりしている姿が見られましたが、繰り返しいろいろな体験を重ねることで、諦めずに挑戦しようという気持ちや頑張ろうという気持ちが持てるようになり個々の自信へと繋がってきました。サーキット運動遊びでは回を重ねることで、順番を待つなどのルールを少しずつ理解する機会にもなりました。また友だちと一緒に楽しんだり励ましたりする中で、仲間意識が芽生え、子どもたちの心の成長も感じることもできました。今では身体を動かすことが大好きな子どもたち。運動用具を用意していると0歳児の子どもたちも目をキラキラさせ、早く動かたくてウズウズしている様子が伺えます。身体を動かせる環境を作ることができたことは、子どもたちにとってたくさんの経験ができ、身体的、精神的にも健全な成長に繋がってきているように思います。

4. 今後の課題と展望

運動用具を取り入れての活動は1年経ちました。徐々に運動能力も伸び、難しいことにも楽しみながらチャレンジする姿が見られるようになりました。保育室は限られた環境ではありますが、室内でも子どもたちのエネルギーが一層発散できるよう、保育者は安全を確保しながら環境を工夫し、今後も様々な運動用具を使用した年齢別年間活動計画を職員と共に話し合い、実施していきたいと考えています。

また、巧技台等での活動で身に付いてきた運動能力の向上と心身の成長（柔軟性・平行性・集中力・注意力・気力・忍耐・自信・バランス・持久力・チャレンジ精神・闘争心）を幼児期からの本格的な全身運動に備えてすべての運動の基礎となる土台に繋げていけたらと思います。

以上